竹林

白河市立五箇中学校だより　No 37

発　行　日　　令和５年１月２７日
発行責任者　　校長　小林　敏史

自由と責任について、お話ししました　～ 朝会講話 ～

今週の朝会で「自由と責任」についてお話ししました。ご家庭でも話題にしていただければと思います。

【　朝会講話　】　※　抜粋

さて、今日は「自由と責任」についてお話しします。
私たちが生きている社会には様々なルールがあります。皆さんの中には、あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ、これはダメ、あれもダメと、不自由な思いをしている人もいるのではないでしょうか？
では、仮にそれらの制約を取り払って、すべて自由にしたならば、どうなるでしょう？
たとえば、時間の使い方を自由にしたとします。生活のリズムは自分で決められます。好きな時間に起きて、好きな時間に寝る。勉強したいときにして、遊びたいときは遊ぶ。楽しいかもしれませんね。
でもちょっと考えてみれば、そんな生活を本気で続けようと思う人は少ないのではないでしょうか？
自由になるということは、日々自分の行為を自分で選択・判断し、決定していくということなんです。
しかも、その結果も自分が背負わなければなりません。だって、自分が決めたことなんですから。これを自己責任といいます。つまり、自由には、そこから得た結果すべてを自分自身が背負わなければならないという「責任」がつきものだということです。決して人の所為にしたり、環境や社会の所為にしてはいけないんです。大人になって行くにしたがって制約は解かれていくものもあります。「ここから先は自分で考えてね」と言うことでしょうか。ただしその判断が間違っていれば法律というルールで裁かれます。まさしく責任を取らされるわけです。
自由であることを求めたり願うことは、人として当然のことです。でもその思いと同じくらい、自分で考え、よりよい判断をし、正しい決定をする力を身につけることが大切です。そして結果に対して、すべて自分自身が責任を負うという覚悟を持つことが絶対に必要です。そうでないと、自由はただのわがままになってしまいます。
この境目をしっかりと見極められるようになるために、皆さんは学校という一つの社会の中で生活していることを忘れないでください。

素敵な詩を見つけました

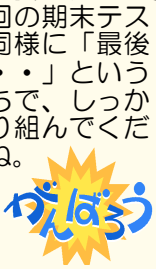
先日インターネットを閲覧していたら、偶然見つけた詩を皆さんに紹介します。

嬉しかったら一歩前へ　　悲しくても一歩前へ
上手くいったら一歩前へ　　上手くいかなくても一歩前
前が見えたら一歩前へ　　お先真っ暗でも一歩前へ
分かり合えたら一歩前へ　　分かり合えなくても一歩前
やる気がでたら一歩前へ　　やる気が出なくても一歩前へ
つまずいても　ころんでも　　戻りたくなっても一歩前へ
皆と出会えて一歩前へ　　皆と別れて一歩前へ

この詩の作者は現役の大学生です。
ちょっと疲れていたときに目にし、「そうだよなぁ～」と心にストンと落ちてきました。皆さんも自分なりの感性で味わってみてください。

中学校最後の定期テストです　～ 3年生期末テスト ～

２６日（木）、２７日（金）の２日間、３年生のとって最後の定期テストである３学期期末テストが行われました。これが終われば、後は最後の実力テスト（２／９）と入試を待つのみです。入試は、高等学校の選抜試験であり、３年生の皆さん一人一人にとって３年間の学習の成果を試される大事な試験です。
今回の期末テストと同様に「最後の・・・」という気持ちで、しっかり取り組んでくださいね。



＜　次週の予定　＞

30	月	朝会　期末テスト予備日(3年)　奉仕部活動日 Tタイム(2年ふくしま学テ・3年入試対策)
31	火	期末テスト予備日(3年)
1	水	Tタイム(2年ふくしま学テ・3年入試対策) 部活動中止日
2	木	
3	金	生徒会総会　　週番引継会

※　2月から部活動終了時刻が17:30になります。

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

やる気は、待っていても出てきません。
でも、やり始めれば、やる気は後からついてきます。
ああだ、こうだ言ってないで、さあ、始めましょう！

～　まずは、行動を起こそう　～